

## News!! 「令和2年度 北海道バイオマスネットワーク会議 総会」を開催しました！

令和2年度北海道バイオマスネットワーク会議総会を令和2年11月に開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、感染症拡大防止の観点から書面開催といたしました。総会における承認事項等の概要についてお知らせします。

### <議題>

#### (1) 設置要綱の改正について

〈委員の名称変更〉

要綱別表記載の委員構成機関の組織統合による変更に伴う改正。

(改正前)

◎改正案のとおり承認

#### (2) 令和元年度活動報告及び令和2年度活動方針(案)について

##### ① 全体

会議は行政機関や研究機関等を中心とする委員100、企業あるいは個人を中心とする会員122、合わせて222の機関や個人に参画をいただいている。現在3つの部会によって構成されており、その3つの部会がそれぞれの役割を分担しながら活動を進めている。

##### ② 地域連絡部会

バイオマスの取組みの主体となる市町村を中心に、関係事業者・団体等における、情報共有及び相互連携によりバイオマス利活用の推進に寄与することを目的として活動している。令和元年度は、昨年7月、今年の2月に地域連絡部会を開催し、色んなバイオマスの活用に関する意見交換、情報交換などを行った。また、バイオマスの利活用に関する、意見交換会を根室市で開催した。

令和2年度は、引き続き、地域でバイオマスの利活用に取り組む市町村の支援のため、アンケートなどにより市町村の意向の把握に努めるとともに、フォーラム開催など、取組事例等に関する情報発信を中心に支援を行う。

##### ③ 普及啓発部会

普及啓発部会は情報発信、双方向による情報の伝達といった2つを活動方針として、平成20年度に設置された部会であり、12の団体で構成。北海道バイオマス・メールマガジンの発行など、広報を中心に活動。

メールマガジンは不定期での発行であるが、令和元年度は計22回発行、購読者数は、現時点(R3.3.9)で、1,068名。情報誌HBnetNewsは、総会や事例報告、フォーラムの概要をまとめてウェブ上で発行している。

##### ④ 利活用検討部会

地域連絡部会での検討状況を受け、ワーキンググループの創設から、ケーススタディやFSの実施を目的に設置。令和元年度の主な活動としては、新規WGの検討や情報収集及び提供を行った。令和2年度は引き続き新規WGの検討や情報収集等を行う。

令和3年2月22日(月)に北海道バイオマスネットワークフォーラム2021をオンライン開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、感染症拡大防止の観点からオンラインといたしました。フォーラムは、昨年度と同様「北海道大学寄附分野バイオマスコミュニティプランニング第5回セミナー」と共同開催といたし、当日は、280名を超える参加申し込みの中、環境省をはじめ関係機関、道内市町村担当者等、多数の機関から、脱炭素社会の構築に有効とされる再生可能エネルギーの導入拡大等について、最新の動向やバイオマス利活用に係る最新事例をご紹介いただきました。

なお、会議の内容については期間限定で公開とし、ご都合等で参加がかなわなかった方等、視聴希望者にご利用頂くことといたしました。

## <当日プログラム>

- 1 開会挨拶 北海道バイオマスネットワーク会議 会長 古市 徹 氏
  
- 2 事例報告  
【第1部】10:10~12:00  
〔国内・道内の動向等〕
  - (1) 2050年ゼロカーボンと環境で地方を元気にする「地域循環共生圏」  
環境省大臣官房環境計画課企画調査室 室長 佐々木 真二郎 氏
  - (2) 持続可能な地域社会実現に向けた共生のまちづくり  
株式会社日立製作所研究開発グループ基礎研究センタ日立北大ラボ ラボ長代行主任研究員  
北海道大学電子科学研究所 客員教授 竹本 享史 氏
  - (3) 過去の自然災害に学ぶ災害廃棄物の利活用の可能性  
環境省北海道地方環境事務所資源循環課 課長 保科 俊弘 氏
  - (4) 「FIT制度に関する最近の検討状況」について  
経済産業省北海道経済産業局  
資源エネルギー環境部エネルギー対策課 課長 山崎 量平 氏
  - (5) バイオマス関係予算について  
農林水産省北海道農政事務所 生産経営産業部事業支援課  
再生可能エネルギー推進係長 諏訪 裕文 氏
  - (6) 北海道が進める気候変動対策について
    - ① 北海道における水素社会実現に向けた取組について  
気候変動対策課地域資源活用係 主査 向平 尚弘 氏
    - ② 北海道地球温暖化対策推進計画の見直しについて  
気候変動対策課計画推進係 係長 名畑 太智 氏
    - ③ 北海道における脱炭素社会の実現に向けた取組について  
気候変動対策課温暖化対策係 係長 矢久保 六玄 氏
    - ④ ごみ処理の広域化計画の見直しについて  
循環型社会推進課一般廃棄物係 係長 疋田 賢哉 氏

【第2部】13:00～16:30

〔道内における先進的な取組事例〕

＜道内市町村＞

- (1) 森林バイオマスを活用した持続可能なまちづくり  
下川町森林商工振興課バイオマス産業戦略室 室長 山本 敏夫 氏
- (2) 畜産バイオマスを核とした資源循環・サステナブルな農業を目指して  
～上士幌町農業再生協議会の取組み～  
上士幌町農林課 主幹 林 峰之 氏
- (3) 廃棄物行政と連携した下水道事業の取組みについて  
恵庭市水道部下水道課 課長 長屋 幸博 氏
- (4) バイオマス利用と施設老朽化対策 ～鹿追町環境保全センターの取組み～  
鹿追町農業振興課 主幹 城石 賢一 氏

＜道内民間団体＞

- (5) 北海道における再生可能エネルギーの連系拡大に向けた一般送配電事業者の取組み  
北海道電力ネットワーク株式会社 業務部電力受給センター所長 喜多村 悟 氏
- (6) 地域発のバイオ燃料の活用  
北海道バイオディーゼル研究会 代表幹事 爲廣 正彦 氏
- (7) 木質バイオマス熱利用のすすめ ～ポストFITを見据えて～  
北海道木材産業協同組合連合会 副会長 内田 敏博 氏
- (8) エネルギー地産地消を推進するため地域との取組みについて  
北海道ガス株式会社経営企画部経営企画グループ 武田 清賢 氏

〔研究進捗報告〕

北海道大学工学研究院寄附分野バイオマスコミュニティプランニング分野  
北海道大学大学院工学研究院

バイオマスコミュニティプランニング分野 特任助教 落合 知 氏  
環境工学部門・環境工学分野循環共生システム研究室 博士研究員 佐藤 昌宏 氏

【第3部】16:30～17:10

〔基調講演〕

- ・将来のまちづくりにむけた環境関連の取組の考え方  
北海道大学大学院工学研究院 教授 石井 一英 氏

3 閉会挨拶 北海道環境生活部 気候変動対策担当局長 土肥 浩己 氏

＜フォーラムの動画配信について＞

- ① U R L <https://smcs.eng.hokudai.ac.jp/bio-com-p20210222seminarvideo.html>
- ② 配信期間 令和3年3月末

＜問い合わせ先＞

【北海道バイオマスネットワーク会議事務局】

北海道環境生活部環境局気候変動対策課 地域資源活用係

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL:011-204-5334(ダイヤルイン) FAX:011-232-4970

E-mail [kansei.kikou@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:kansei.kikou@pref.hokkaido.lg.jp)

